

令和3年度
教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検・評価報告書



学習発表会（出中）

令和4年3月
出雲崎町教育委員会

目 次

	頁
はじめに	1
I 総合教育会議	3
II 教育委員会の会議及び活動状況	4
III 学校教育	7
1. 出雲崎小学校	7
2. 出雲崎中学校	13
3. 学校支援地域本部事業	17
IV 社会教育事業の実施状況	21
1. 社会教育・公民館事業	21
2. 図書館事業	28
3. 社会体育事業	31
V 学校・社会教育施設の整備充実	36
VI 学識経験者からの総合評価	37
VII その他	38

はじめに

1 点検評価の公表

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況等について、学識経験者を活用して、毎年教育委員会自らが点検・評価を行い、その結果を議会に報告するとともに、公表することが義務付けられている。

本報告書は、これに基づき効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、令和3年度の出雲崎町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行った結果を報告するものである。

2 学識経験者の知見の活用

令和3年度の点検・評価に当たっては、学識経験を有するものとして、元長岡市立東中学校長の佐藤忠弘氏（長岡市・旧三島町在住）から、第5次出雲崎町総合計画における教育関係の基本計画及び町教育計画を踏まえて、本年度事業及び次年度に向けて助言・指導を得た。

3 報告書の内容から見られる評価

- (1) 本年度計画していた柳津町教育委員との研修は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としたが、来年度以降も委員の資質向上に向けた研修機会を設けていく。
- (2) 確かな学力向上に向けて小学校1校・中学校1校のメリットを生かすため児童・生徒主体の授業構成、振り返りを重点にしており、また発達段階に応じて学ぶ環境や習慣の基礎、基本を大切にした教育を実践している。全国学力学習状況調査の結果では、小中学校ともに全国平均及び県平均を下回る結果となっている。基礎的基本的な内容を確実に習得させる授業を大切にするとともに、家庭学習時間を一層増やしていく取り組みが必要である。
- (3) 学習指導、生徒指導の教育活動の充実を図るため、教員補助員を小学校3名、中学校に2名配置することや小4から中3まで外国語を通じて表現力、コミュニケーション力を身に着けさせるため英語指導員を配置している。
また、理科や数学に対する子供たちの興味、関心が薄れ、学力低下との指摘があることから、小4から小6の理科には「理科支援員」を配置し、教員をサポートする体制の継続を図るとともに、中学校入学後における理科教育に対する意欲、関心等の充実及び学力向上に結び付くよう取り組んでいる。
- (4) 社会教育活動では、「出雲崎総合大学」事業は、23年間継続している事業で参加者の満足度も高く喜ばれているが、今後も多彩な講座やセミナーを計画していく中で、身に着けた知識や技能を地域などで活かすことかできるコーディネーターを増やす必要がある。
- (5) 小学校児童の放課後の学びの場として、「放課後子ども教室」「放課後児童クラブ」をより安全に過ごし、多様な体験や活動行うことができるように「放課後子ども総合プラン運営委員会」で、検証・評価を行っている。
- (6) 新型コロナウイルス感染対策に係る学校、公共施設での必要な物品や対応マニュアルを作成し随時見直しを行い運用している。特に学校での万一に備

えた行動パターンを学校と共有することができた。

4 今後の点検・評価にかかる重点事項について

次年度は、特に次の事柄に配慮しながら、取組んで参りたい。

- (1) GIGA スクール元年となる令和3年度は、すべての児童生徒が一人一台の端末を有効適切に活用し、個別最適な学びを確立できるように教育行政の質的向上に努めた。そのために学校現場が ICT 機器を活用した授業づくりを積極的に進めることができるような研修体制の構築を図るとともに、各家庭で使用する学習端末用充電器や、必要に応じて Wi-Fi ルーターの貸し出し等環境整備に努めた。
- (2) 令和3年度から、小学校で発達障害の通級指導教室が開設されたことに伴い、通常学級に在籍していながらも特別な支援を要する児童生徒が、町内で個々のニーズに応じた指導が受けられる体制が整備され運用が開始された。
- (3) 中学校が新学習指導要領全面実施に伴い、児童生徒個々の学力を確実に高めていくために、小中連携した学習の取り組みを進めていく。特に小学校3、4年生の英語活動、小学校5、6年生の教科英語、新学習指導要領の下での中学校英語の連携を一層緊密にしていくことが求められている。教育委員会が町教研活動に働きかけながら教職員の研修意欲を高めていく。
- (4) 学習面では、小中学校の9年間で発達段階に応じた指導を進めているが、学力テスト結果からさらに家庭学習の充実、定着を図り学力向上に努めたい。
総合学習等では、良寛学習を継続して行い、児童生徒一人ひとりが学習資料をファイル化し、学習成果の継続性を図っていき、その成果を称え中学校卒業時に「良寛学習修了証書 慈愛」を授与し、「ふるさと出雲崎・郷土の誇りである良寛の心」を持ち続ける学社連携事業を着実に進めたい。
- (5) 特別な支援が必要な児童生徒が増加傾向にあることから、特別支援教育の充実を図るため、教員補助員や介助員の配置により特性に応じた指導、支援を行い、一人一人の基本的な生活習慣の定着、コミュニケーションや社会性の向上を支援していく。学校側からも人的確保が充実されており喜ばれている。
- (6) 町民が心豊かな人生をおくるため、「家庭・地域の教育力の向上」「家庭・地域・学校・行政が一体となった生涯学習の推進」「歴史・文化・芸術の振興」の3つを施策の柱として進めていく。青少年育成や成人の学習活動で教室、講座、イベントなど行政が行うものに加え、自主的な団体活動の学習機会の充実を図っていく。
- (7) 青少年の SNS に係るトラブルが増加していることから、小・中学校においてタブレット端末の正しい使い方と危険性について指導・啓発を一層進めていかなければならない。

I 総合教育会議

(1) 新教育委員会制度により、町長が招集する「総合教育会議」を令和3年6月14日に開催し、町長と出雲崎町の教育について意見交換を行い、教育現場の現状や児童・生徒の様子について話し合いを行いました。

出席者	出雲崎町長	小林 則幸
	教育長	曾根 乗知
	教育委員	佐藤 正志
	教育委員	大磯多華子
	教育委員	宮田よしみ
	教育委員	松岡 聡
	教育課長	内藤 良治
	管理指導主事	近藤 道範
	教育課課長補佐	吉岡 育子
	学校教育係長	高橋 聡

・意見交換の基となる教育長、管理指導主事からの説明事項

1 出雲崎町の教育の現状と課題について（教育長）

今年度の教育方針として、第3次出雲崎町生涯学習推進計画に基づき、以下の視点からの説明があった。

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策下での教育活動
- (2) GIGAスクール構想の実現に向けた取り組み
- (3) 個別最適化の学びを推進する特別支援教育の充実
- (4) いじめ対応
- (5) 学力テストの結果を活かした学力向上の取り組み
- (6) 学校における働き方改革の推進

2 出雲崎町立小中学校の現状と課題（管理指導主事）

学校教育現場から見た状況等の説明があった。

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策下での教育活動と学校管理
 - ① 新しい生活様式の下で入念な感染対策と学びの保障
 - ② 新型コロナウイルス感染症陽性者判明時の対応マニュアル
- (2) GIGA スクール構想の実現に向けた取り組み
 - ① 「学習端末活用の手引き」に基づく校内での端末使用開始
 - ② 家庭での学習端末を可能にする情報通信環境の整備
 - ③ 情報モラル教育の一層の充実
- (3) 個別最適化の学びを推進する特別支援教育の明確化
 - ① 児童生徒の障害の程度やニーズに応じた合理的配慮と周囲の理解
 - ② 発達障害通級指導教室の体制づくり
 - ③ きらり・教育委員会・学校が連携した適正な就学相談体制の充実
- (4) いじめ対応
 - ① 令和2年度のいじめ認知 小学校 2 中学校 4
 - ② 重大事態発生時の市町村調査機関（第三者委員会）の設置

II 教育委員会の会議及び活動状況

(1) 定例会および臨時会の開催（定例会 5 回、臨時会 3 回）		
会議	日付	審議事項等
4 月定例会	4/26	奨学金の貸与 学校評議員、社会教育委員、スポーツ推進委員、教育行政点検評価員の委嘱 図書館協議会委員、スポーツ推進審議会委員の任命 (議案 7 件)
6 月定例会	6/14	社会教育委員、公民館運営審議会委員、文化財調査審議会委員の委嘱 教育費補正予算（4 月、6 月） (議案 5 件)
9 月定例会	9/10	令和 4 - 6 年度使用教科用図書及び令和 4 年度使用特別支援学級用一般図書の採択 教育費補正予算（7 月、9 月） (議案 3 件)
12 月定例会	12/7	教育費補正予算（12 月） (議案 1 件)
3 月定例会	3/3	教育費補正予算（3 月）、教育費当初予算 教育委員会表彰 (議案 3 件)
3 月臨時会	3/23	公設塾運営事業実施要綱の制定 教育委員会規則の改正 奨学金返還支援事業助成金交付要綱の改正 (議案 3 件) 教職員及び教育委員会の人事異動 教育委員会職員事務分担 (説明事項)
(2) 教育委員研修		
・新潟県市町村教育委員連合会総会・研修会（中止）		
・意見交換会（柳津町 中止）		
・庁内研修 5 回 「4 月・6 月・9 月・12 月・3 月」		

(3) その他の参加活動状況
・ 転入教職員面識会 (4月1日)
・ 未来の夢こども体験講演会 (10月27日)
・ 学校施設営繕視察検討会 (12月7日)
・ 町教育委員会表彰伝達式 (3月3日)
・ 町成人式 (3月12日) 職務代理者のみ

▶ 概要

令和3年度の教育委員会会議は、定例会を5回、臨時会を1回開催し、22件の議案を審議した。総合教育会議は児童・生徒等の生命・身体等の緊急の講ずべき課題はないために1回の開催となった。

また、教育委員の活動状況は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年間を通して学校行事や研修会、社会教育行事等が縮小しての実施や開催そのものが中止となり、自らが教育委員としての資質向上や、教育分野の視野を広げる活動を今までと同じ方法で行うことが非常に難しい状況であった。

▶ 成果と課題

- (1) 町長と教育委員による総合教育会議の開催より、新型コロナウイルス感染症拡大防止の徹底や特別支援教育の充実、キャリア教育の推進を図るなど、両者の教育施策の方向性を共有し、一致して執行にあたることを確認できた。
- (2) 教育委員会を開催する際は、定例的に教育委員研修を実施することで、教育や子育て支援に関する新制度や児童生徒の現状を速やかに報告するなど教育委員と事務局の情報共有を進め、審議の活性化に努めた。
- (3) 教職員が児童・生徒の様子を把握し、何かあった時は校長のもとで初期対応をチーム学校で取り組む体制を構築していく。また「出雲崎町いじめ防止基本方針」による取組や学校とPTA、保護者などと連携しながら、「いじめを生まない、いじめを絶対見逃さない」意識を醸成していく。
- (4) 自然体験として小4～小6までを対象にスキー教室を行った。また小1～小3も雪遊びやスケートを通じて新潟県内に住みながら冬の体験活動の機会が少ないことから学校生活では体験できない自然環境で心身、技能を高める目的で今後も続けていく。
- (5) 教育支援相談は教育課と保健福祉課で連携して対応している。職員(保健師)による聞き取りや助言を行い、ケースによっては専門職による巡回指導やスクールカウンセラー事業での臨床心理士による相談により、児童生徒の保護者への支援を行っている。
- (6) 高校生の通学に係る保護者の経済的負担の軽減を図るため、通学定期券購入費用の一部を助成しており、通学が困難で寮生活されている生徒も対象にして

いる。

- (7) 小・中学校に入学する児童・生徒の保護者に対し、入学祝い金の支給を入学前の2月に支給し、入学時における家庭の経済的負担の軽減を図っている。
- (8) 若者の定住促進を図るため、奨学金の貸与を受け大学・専門学校等に就学した学生が卒業後に当町に定住し就職された場合に返還する奨学金の一部を助成し、着実に成果を上げている。
- (9) 昨今の通学途中の犯罪や交通事故を背景に、登下校の児童・生徒の安全確保が求められており、冬期間に限り自宅から3km以上の中学生にスクールバスの運行を継続し、遠距離生徒の通学の安全確保が図られている。
- (10) 町と出雲崎高校との包括協定が締結され、交流や連携を図りながら同校の持続的発展、地域貢献できる人材に結びつけるため、教育活動への人的・物的資源の活用や支援を積極的に行っていく。



総合学習（良寛学習 小3）



学習発表会

Ⅲ 学校教育

1. 出雲崎小学校

令和3年度 出雲崎小学校 学校評価だより

7月にご回答いただいた学校評価アンケートにおいては、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。下記のとおり集計結果と今後の課題についてまとめましたので、お知らせいたします。

また、今回はフォームでの回答にご協力いただきましてありがとうございました。集計作業が飛躍的に効率化されることが確認できたので、今後も使用していきたいと考えています。

今後とも、全職員一丸となって、教育活動に邁進していきますので、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

出雲崎小学校 校長 五十嵐 悟

* ↑：昨年度末と比較してアップ ↓：昨年度末と比較してダウン

児童アンケート結果		中間評価	比較	保護者アンケート結果		中間評価	比較
1	学校は楽しいですか。	95		1	お子さんは、喜んで学校に通っていますか。	95	
2	授業が分かりますか。	90	↓	2	お子さんは、学校の授業内容を理解していると感じますか。	86	↑
3	授業中、進んで考えたり、問題を解いたりすることができましたか。	90	↓	3	お子さんは、進んで学習に取り組んでいますか。	69	—
4	毎日、学年×10分以上の家庭学習をしていますか。	96	↑	4	お子さんは、毎日学年×10分以上の家庭学習に取り組んでいますか。	82	↑
5	相手の目を見て、進んであいさつできましたか。	88	—	5	お子さんに、家庭学習に取り組むための働きかけをしていますか。	89	↑
6	友達となかよくできましたか。	99		6	お子さんは、家庭や地域で、進んであいさつをしていますか。	71	
7	係活動や当番活動、委員会の仕事など、みんなの役に立てたと思いますか。	94		7	お子さんに、家や地域で、進んであいさつするように働きかけていますか。	88	
8	メディア(テレビ・ゲーム・スマホ・パソコンなど)に関する家の人との約束を守っていますか。	89	↓	8	お子さんに、肯定的で温かな言葉かけをしていますか。また、お子さんが乱暴な言葉遣いをしたときは指導していますか。	94	↑
9	毎日、朝ご飯を食べていますか。	98		9	家でお子さんに、手伝いをさせたり、仕事を任せたりしていますか。	76	↓
10	自分で起きることができましたか。	83	—	10	メディア(テレビ・ゲーム・スマホ・パソコン等)について、家庭でルールをつくり、守らせていますか。	79	↑
11	休み時間や体育の時間に進んで運動しましたか。	90	↓	11	お子さんの規則正しい生活習慣づくりのための働きかけをしていますか。	91	
12	体育の時間などで、自分のめあてをたてて、練習したり努力したりしましたか。	96	↑	12	学校の職員は、お子さんや保護者の困りごとや悩み、相談事に対し、誠実に対応していますか。	99	↑
				13	学校は、学校・学年からのたより等で、学校の活動やお知らせを適切に伝えていますか。	100	

※アンケート内容をそろえるため、設問の一部の順を変えてあります。

「中間評価」欄は、各項目を集計し、肯定的回答を百分率(%)で表しています。昨年度末評価と比較して、3ポイント以上変化があった場合は矢印で示してあります。「—」は新しいアンケート項目のため、比較できないことを表しています。

また、アップしている項目とダウンしている項目がありますが、概ね80%以上は良い評価と受け止めています。80%未満の項目についてはさらに活動や取り組みを充実させていきたいと考えています。

知育

豊かな学びを創る

成果

どの項目においても児童の肯定的な回答が 90% 以上でした。学習での課題のもたせ方の工夫や見通しをもった学習の進め方、複数職員でのきめ細かな指導や温かな声掛け等により、子どもたちも真剣に学習に取り組もうとする意識を高めていると考えられます。

課題と取組

「授業が分からない」という子は、当然ながら「進んで学習に取り組む」ことができません。否定的評価をしている児童の実態把握に努め、職員間の連携を強化し、日常的に児童の情報交換を行いながら、個に応じた指導・支援を全校体制で進めていきます。個に応じた支援を工夫しながら、「分かった」「できた」経験を積み重ね、進んで学習に取り組む子をさらに増やしていきます。



徳育

豊かな感性と社会性を育む

成果

「学校が楽しい」「友達と仲良くできた」と答える児童が 95%以上でした。校内全体が落ち着いて優しい雰囲気があるのだと考えられます。縦割り班活動や委員会活動という場があり、児童の活躍が認められる機会が昨年よりも多いことも一因と思われます。あいさつもよくなってきています。

課題と取組

相手意識をもつことなく声を出せばよいとか、数の多さだけを競うことによさを感じている児童もおり、あいさつすることの意義が理解できるようにしていくことが必要です。あいさつについては、児童会活動など連携して、気持ちの伝わるあいさつへの意識づけを工夫していきます。



体育

健康・安全と体力の向上を図る

成果

「進んで運動」「めあてに向かって…」の項目に肯定的に答えた児童が90%を超え、学校では、グラウンドや体育館、ほなみが丘で元気に体を動かす子が多いです。また、竹馬や一輪車、鉄棒や遊具などを使って遊ぶ姿も多く見られています。生活リズムも整ってきている児童が増えてきました。

課題と取組

メディアとのかかわりについての約束事では、児童90%、保護者79%と差がありました。ハッピーライフウィーク等の機会を活用し、家庭での規則正しい生活リズムの維持と向上に向けた児童への指導や啓発をしていきます。



令和3年度

出雲崎小学校

学校評価だより

後期の学校評価アンケートにつきまして、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。下記のとおり集計結果と今後の課題についてまとめましたので、お知らせいたします。

今後とも、全職員一丸となって、教育活動に邁進していきますので、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

出雲崎小学校 校長 五十嵐 悟

* ↑：昨年度末と比較してアップ ↓：昨年度末と比較してダウン

児童アンケート結果			保護者アンケート結果				
	中間評価	比較		中間評価	比較		
1	学校は楽しいですか。	93	—	1	お子さんは、喜んで学校に通っていますか。	90	↓
2	授業が分かりますか。	93	↑	2	お子さんは、学校の授業内容を理解していると感じますか。	82	↓
3	授業中、進んで考えたり、問題を解いたりすることができましたか。	89	—	3	お子さんは、進んで学習に取り組んでいますか。	68	—
4	毎日、学年×10分以上の家庭学習をしていますか。	92	↓	4	お子さんは、毎日学年×10分以上の家庭学習に取り組んでいますか。	80	—
5	相手の目を見て、進んであいさつできましたか。	80	↓	5	お子さんに、家庭学習に取り組むための働きかけをしていますか。	87	—
6	友達となかよくできましたか。	99	—	6	お子さんは、家庭や地域で、進んであいさつをしていますか。	76	↑
7	係活動や当番活動、委員会の仕事など、みんなの役に立てたと思いますか。	91	↓	7	お子さんに、家や地域で、進んであいさつするように働きかけていますか。	95	↑
8	メディア（テレビ・ゲーム・スマホ・パソコン等）に関する家の人との約束を守っていますか。	92	↑	8	お子さんに、肯定的で温かな言葉かけをしていますか。また、お子さんが乱暴な言葉遣いをしたときは指導していますか。	93	—
9	毎日、朝ご飯を食べていますか。	98	—	9	家でお子さんに、手伝いをさせたり、仕事を任せたりしていますか。	82	↑
10	自分で起きることができましたか。	76	↓	10	メディア（テレビ・ゲーム・スマホ・パソコン等）について、家庭でルールをつくり、守らせていますか。	78	—
11	休み時間や体育の時間に進んで運動しましたか。	91	—	11	お子さんの規則正しい生活習慣づくりのための働きかけをしていますか。	91	—
12	体育の時間などで、自分のめあてをたてて、練習したり努力したりしましたか。	89	↓	12	学校の職員は、お子さんや保護者の困りごとや悩み、相談事に対し、誠実に対応していますか。	97	—
				13	学校は、学校・学年からのたより等で、学校の活動やお知らせを、適切に伝えていますか。	97	↓

※アンケート内容をそろえるため、設問の一部の順を変えてあります。

「後期評価」欄は、各項目を集計し、肯定的回答を百分率（％）で表しています。前回の評価と比較して、3ポイント以上変化があった場合は矢印で示してあります。「—」は変化のほとんどなかった項目です。

また、アップしている項目とダウンしている項目がありますが、概ね80％以上は良い評価と受け止めています。80％未満の項目については今後さらに活動や取り組みを工夫し充実させていきます。

知育

豊かな学びを創る

成果

学習が難しくなっていく後期でも肯定的な回答がほぼ維持できました。学習での課題のもたせ方の工夫や見通しをもった学習の進め方、タブレット端末の活用、複数職員でのきめ細かな指導や温かな声掛け等により、授業が充実していたと考えられます。

課題と取組

「授業が分からない」という子は、当然ながら「進んで学習に取り組む」ことができません。否定的評価をしている児童の実態把握に努め、児童に寄り添いながら学習活動を進めていきます。今後も引き続き、個に応じた支援を工夫しながら、「分かった」「できた」経験を積み重ね、進んで学習に取り組む子が増えるよう努めていきます。



徳育

豊かな感性と社会性を育む

成果

「学校が楽しい」「友達と仲良くできた」と答える児童が若干減少したものの、校内全体が落ち着いて優しい雰囲気が継続されています。感謝を伝える生活目標や6年生ありがとう集会を柱に、5年生のリーダーシップを促していきます。

課題と取組

あいさつへの評価が下がっています。あいさつをすることのねらいについて、改めて考えることを通して、相手との関係を意識したあいさつをすることができるよう今後も様々な工夫をしていきます。



体育

健康・安全と体力の向上を図る

成果

「進んで運動」「めあてに向かって…」の項目に肯定的に答えた児童が90%を超え、学校では、グラウンドでの雪遊びや体育館で元気に体を動かす子が多いです。また、縄跳びを使って積極的に体を動かす姿も多く見られています。メディアにかかわるアンケート結果もよくなっています。

課題と取組

上手にメディアと付き合っていけるよう、今後も強調週間を設ける等しながら、家庭でのルール、正しい生活リズムの維持と向上に向け促していきます。



2. 出雲崎中学校

令和3年度 出雲崎中学校グランドデザイン



R2 全校合唱

教育目標
豊かな心（徳） たくましい実践（知・体）

令和3年度 重点課題
・学力の向上
・人間関係づくり



R2 体育祭 よさこい

【年度の重点『目指す生徒の姿』】

※指導しながら評価し、目標達成を図ります。

知： 意欲をもって分かるまで、 できるまで学ぶ生徒	徳： お互いを思いやる心優しい生徒	体： 目的をもって自己に挑戦し 自ら鍛える生徒
<p>【努力事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知識・技能の着実な習得と活動場面の充実を通じた、学びの実感の育成 ○言語活動の充実を通して、考えを深められる生徒の育成 ○キャリア教育の充実から学ぶ意義や目的を見出し、主体的に学ぶ意欲の育成 <p>【目指す生徒の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○12月の確認テストの結果が基準を上回る ○授業アンケートの肯定的評価が90%以上である。 ○家庭学習の習慣が確立している。（60分+学年×10分以上の取組） ○授業準備を確実にし、チャイムと同時に学習活動に取り組む ○Webテスト・基礎テストの正答率が向上する。 ○自分の意見や考えをしっかりと発表する。 	<p>【努力事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相手の立場を考えて行動できるコミュニケーション能力の育成 ○関わり合う活動を通じた自己肯定感、自己有用感の育成 ○人権教育、同和教育の充実を通して差別や偏見をしない人間関係づくりの醸成 <p>【目指す生徒の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集団の役に立っていると実感して学校生活を送る生徒が80%以上である。 ○学校が楽しいと感じる生徒が90%以上である。 ○係や専門委員会で自分の役割を果たす。（自ら気付けて仕事ができる。） ○挨拶、返事、言葉遣い、身だしなみが爽やかである。 ○率先して協力し、感動的な行事を作り上げようと努力する。 	<p>【努力事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○具体的な目標をもって、継続的に体力の向上を図ろうとする生徒の育成 ○自己管理に対する高い意識をもち、基本的生活習慣（メディアコントロール・睡眠時間・食生活等）を確立する生徒の育成 <p>【目指す生徒の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体力テストの県平均を18項目以上越える。（前期は48項目、後期は36項目） ○ハッピーライフウィークでの重点3項目を守って生活できる。（就寝時間・メディア利用・朝食摂取） ○部活動や社会体育活動に真剣に取り組む心・技・体の向上に努め、人間的な成長を成し遂げようと努力する。 ○適切な感染症防止や生活習慣の振り返りから生活改善ができる。

『心耕の精神』

素直で心豊かな人間を目指します。

地域・保護者との協働	出雲崎町の学校教育の基本理念	小学校との協働（小中一貫教育）
<p>◎地域の組織・人材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部事業 ・学校評議員会 ・地域コーディネーター ・学習支援ボランティア ・地域おこし協力隊 ・地域の事業所、福祉施設等 <p>◎家庭との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・ハッピーライフウィークでの連携 ・家庭でのメディアのルールづくり ○規範意識の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内ルールの育成 ○豊かな人間性の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、言葉遣い、身だしなみ ○学習支援 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習のみとりと支援・確認 	<p>◎生きる力の基盤となる確かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの実現 <ul style="list-style-type: none"> ・「見方・考え方」を働かせる授業改善 ・学習評価の充実 ・よい点や進歩の積極的な評価 ・学習規律と家庭学習習慣の構築 ・興味関心に基づく学びを生かす指導 <p>◎豊かな心・倫理観・規範意識を育む教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・善悪を的確に判断する力の育成 ・家庭や地域の協力を得た道徳の充実 ・思いやりの行動をする態度の育成 ・豊かな体験の充実 ・一人一人が活動できる場の設定と称賛 <p>◎夢と志をもち健康で逞しい心身の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己管理能力の育成 ・食育・眠育・メディア利用の指導 ・生活習慣を振り返る場の設定 	<p>◎小中一貫教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9年間を通じた授業規律の徹底 ・9年間を通じた家庭学習の確立 ・「わかる」を積み重ねる指導の工夫 ・課題の洗い出しと系統的な指導の充実 ・「知・徳・体」の3部門での連携 ・9年間の見通しをもった「良寛学習」 ・発達段階に応じた体験学習の設定 ・道徳、キャリア教育の充実 ・継続的な情報交換による生徒指導 ・積極的な交流活動 ・キャリアパスポートによる連携 <p>◎学力の向上に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共に伝え合い、学び合う場の設定 ・話し合い活動の計画的な設定 ・授業のUD化の推進 ・家庭学習指導の継続と連携

【出雲崎の教育】

夢・感性あふれる教育

評価サイクル

学校評価（内部評価・外部評価・学校関係者評価）

評価結果の公表

課題把握・改善への具体的方策

知育

知	評価項目	評価基準	評価	備考
生きて働く知識・技能	成果 ・12月のまとめテストの結果が基準を上回る。	全体平均を100として A：100以上の教科が11/15以上 B：100以上の教科が8/15以上 C：Bに満たない	B	1年国111数106英104社109理100 2年国103数114英116社114理106 3年国99数97英86社90理94
	教育活動 ア チャイムと同時に学習活動に取り組む。	生徒の授業アンケートの「4」のみ肯定とする集計方法で A：90%以上が肯定的評価 B：50%以上が肯定的評価 C：Bに満たない	B	A70.3 B29.7 C0.0 D0.0
	イ 基本的な知識や技能が身に付いている。	基礎テストの合格率が A：75%以上 B：65%以上 C：Bに満たない ※実施テストごとに評価。	B	英 1年 82.4 88.9 2年 89.3 96.4 3年 82.8 76.7 数 1年 77.8 38.9 2年 77.8 48.1 3年 50.0 社 1年 38.9 2年 35.7 3年 24.1 理 1年 56.3 72.2 2年 75.0 50.0 3年 53.6 53.3
	ウ 毎日60分+学年×10分以上家庭学習に取り組む。	生徒の学校生活アンケートで A：90%以上が肯定的評価 B：80%以上が肯定的評価 C：Bに満たない	C	達成 43.8 ~1時間 50.7 ~30分 5.5 評価基準の見直し必要
	運営活動 ア チャイムと同時に行う学習活動を毎時間準備する。	教師の評価で A：全教師が肯定的評価 B：2/3以上が肯定的評価 C：Bに満たない	A	A75 B25 C0.0 D0.0
	イ 基本的な知識・技能の定着を図るため、授業の工夫を行う。	教師の評価で A：全教師が肯定的評価 B：2/3以上が肯定的評価 C：Bに満たない	A	A90.9 B9.1 C0.0 D0.0
	ウ 家庭学習ノートを毎日点検し、助言、指導する。	教師の評価で A：点検と助言をほぼ毎日行った。 B：半分程度できない日があった。 C：Bに満たない	A	A72.7 B27.3 C0.0 D0.0
	成果 ・学びに向かう力が高まる。	教育活動のア、イ、ウの評価で A=3点, B=2点, C=1点として、合計が A：8, 9点 B：5~7点 C：3, 4点	B	1+1+3
	教育活動 ア 課題を理解して一人学習や学び合いに取り組む。	生徒の授業アンケートの「4」のみ肯定とする集計方法で A：75%以上が肯定的評価 B：50%以上が肯定的評価 C：Bに満たない	C	A49.3 B46.6 C4.1 D0.0
	イ 授業で身に付けた、基本的な知識や技能を活用し、課題の解決に向けて、自分から考え、自分から取り組む。	生徒の授業アンケートの「4」のみ肯定とする集計方法で A：75%以上が肯定的評価 B：50%以上が肯定的評価 C：Bに満たない	C	A39.7 B53.4 C6.8 D0.0
ウ 進路や生き方に関する目標を設定し、体験活動に取り組む。	教師の見取りで A：90%以上が肯定的評価 B：75%以上が肯定的評価 C：Bに満たない	A	A66.7 B33.3 C0.0 D0.0	
運営活動 ア 毎単元、意図を明確にした一人学習や話し合いの場面を設定する。	毎単元実施しているかについての教師の評価 A：全教師が肯定的評価 B：2/3以上が肯定的評価 C：Bに満たない	A	A83.3 B16.7 C0.0 D0.0	
イ 毎単元、課題解決型の授業を設定する。	教師の評価で A：全教師が肯定的評価 B：2/3以上が肯定的評価 C：Bに満たない	A	A83.3 B16.7 C0.0 D0.0	
ウ 総合的な学習の時間の指導で、事後のまとめ方を見通して、計画的な指導を行う。	教師の評価で A：全教師が肯定的評価 B：2/3以上が肯定的評価 C：Bに満たない	A	A90.9 B9.1 C0.0 D0.0	

徳育

徳	評価項目	評価基準	評価	備考	
自己肯定感・自己有用感	成果	自分がクラスや学校の活動に貢献していると実感して学校生活を送る。	Q-Uの結果を活用する。 (A. やる気のあるクラスをつくる)「16. 自分もクラスの活動に貢献していると思う。」5点満点 (C. 日常の行動を振り返る)「11. みんなのためになることを自分で見つけ実行している」4点満点→4×1.25=5点満点 A: 2つの合計値が8点以上 B: 2つの合計値が6点以上 C: Bに満たない	B	全校得点平均 7.90点(0.64点向上) (A16) 3.78点(0.19点低下) (C14) 4.12点(0.80点向上) 1年生 A 7.86点 (1.02点低下) 2年生 A 8.35点 (0.48点向上) 3年生 B 7.50点 (0.35点低下)
	教育活動	ア 専門委員会や学級の係活動などで自分の役割を果たす。	生徒の学校生活アンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	A	1年生:A 100% (内訳A72.2%) 2年生:A 100% (内訳A85.7%) 3年生:A 100% (内訳A81.5%) 内訳では、Aの割合が中間評価よりも全校で5.1%向上した
	教育活動	イ 学校生活において、決められた仕事だけでなく、自分で気づいて仕事を行う。	生徒の学校生活アンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	A	1年生:A 100% (内訳A38.9%) 2年生:A 100% (内訳A71.4%) 3年生:A 100% (内訳A51.9%) 3年生でCと解答した生徒がいなくなった。 内訳では、Aの割合が中間評価よりも全校で3.3%低下した
	運営活動	ア 専門委員会や学級での取組について、他者からの評価の場を定期的に設定し、良さを認めたり改善すべき点を指導したりする。	教師のアンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	A	100%(内訳 A92.3% B7.7%) 内訳では、Aの割合が中間評価より28.0%向上した。
	運営活動	イ 生徒会本部や毎月の専門委員会で振り返りを行うなど、活動の意味や学校生活向上に貢献する意義について指導する。	教師のアンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	A	100% (内訳 A78.6% B21.4%) 内訳ではAの割合が中間評価より17.1%向上した。
豊かな人間関係づくり	成果	・生徒がクラスの中にいるとほっとしたり明るい気分になる。	Q-Uの結果を活用する。 (A. やる気のあるクラスをつくる)「14. クラスの中にいるとほっとしたり明るい気分になる。」 A: 平均点が4.2点(80%換算)以上 B: 平均点が3.4点(60%換算)以上 C: Bに満たない	B	全校得点平均4.05点(77.1%)0.1%向上 1年生 B 4.00点(76.2%)変化なし 2年生 B 4.17点(79.4%)2.4%向上 3年生 B 4.00点(76.2%)変化なし
	教育活動	ア ペアトークやグループでの話し合いでは、相手が言いたいことを考えながら、人の話を聞くことができる。	生徒の学校生活アンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	A	1年生:A 88.9%(内訳A50.0%) 2年生:A 96.4%(内訳A64.3%) 3年生:A 96.3%(内訳A33.3%) 中間評価では全学年100であったが、全ての学年で低下した。内訳では、Aの割合が全校で5.9%低下した。1年生で2人、2年生と3年生で1人ずつCの回答があった。
	教育活動	イ 悩みや困ったことがあったら、誰かに相談できる。	生徒の学校生活アンケートで A: 悩みや困ったことがあったら、誰かに相談できたと回答する生徒の割合が80%以上 B: 誰かに相談できたと回答する生徒の割合が60%以上 C: Bに満たない	A	1年生:A 94.4%(内訳A55.6%) 2年生:A 92.8%(内訳A53.6%) 3年生:A 88.9%(内訳A70.4%) 内訳Cは1年生1名、2年生1名、3年生3名であり、内訳Dで2年生1名であった。 全体の内訳でみると、Dが減少してCが増えた他はほぼ変化無し。
	運営活動	ア 望ましい傾聴のモデルを念頭において、授業や特別活動の場面で傾聴の仕方を指導している。	教師のアンケートで A: 肯定的な評価割合が90%以上 B: 肯定的な評価割合が70%以上 C: Bに満たない	A	100% (内訳 A83.3% B16.7%) 内訳ではAの割合が中間評価より28.8%向上した。
	運営活動	イ 日々の生徒の様子や変化を捉えて、生徒に進んで声かけを行う。	教師のアンケートで A: 肯定的な評価割合が90%以上 B: 肯定的な評価割合が70%以上 C: Bに満たない	A	100% (内訳 A92.3% B7.7%) 内訳ではAの割合が中間評価より9.0%向上した。

体育

体	評価項目	評価基準	評価	備考								
体力の向上	成果目標	・2学期に実施する新体力テストで、36項目中、1学期に実施する新体力テストの県平均を18項目以上越える。(1学期は全48項目実施) ※1学期の新体力テスト：全国共通 ※2学期の新体力テスト：学校独自に実施 ※2学期は、屋内6種目のみ実施	2学期に行う新体力テストの結果で、36項目中、 A：18項目以上、県平均を上回る B：14項目以上、県平均を上回る C：Bに満たない。 ※総項目数：テスト6種目×各学年・男女6集団の合計＝36項目	※2学期に最終的に評価する 1学期 26項目(48項目中)で県平均を上回った。 達成率54.1% 2学期 28項目(36項目中)で県平均を上回った。 達成率77.7%								
	教育活動	・体育授業や部活動、昼休み、日常生活のなかで、運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。	生徒の学校生活アンケートで「あなたは運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツが好きですか」という質問に A：好きという生徒が80%以上 B：好きという生徒が70%以上 C：Bに満たない。 ※男女とも数値が上回ることにする。	好きという生徒(評価のA項目)が全校平均で 前期：71.6% 後期：75.3% A評価内訳 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">前期</td> <td style="text-align: center;">後期</td> </tr> <tr> <td>1年生：72.2%</td> <td>61.1%</td> </tr> <tr> <td>2年生：78.6%</td> <td>89.3%</td> </tr> <tr> <td>3年生：64.3%</td> <td>70.4%</td> </tr> </table>	前期	後期	1年生：72.2%	61.1%	2年生：78.6%	89.3%	3年生：64.3%	70.4%
	前期	後期										
1年生：72.2%	61.1%											
2年生：78.6%	89.3%											
3年生：64.3%	70.4%											
運営活動	・体育授業の準備運動で、体力づくり運動を毎時間実施する。 ・生徒が考案した出中トレーニングを実施する。(令和4年度から)	4月~10月(水泳授業のある7月を除く)体育(準備運動)で、体力づくり運動を A：総時数の75%以上の時間で実践 B：総時数の60%以上の時間で実践 C：Bに満たない。	A	毎授業で実施した。								
基本的な生活習慣の確立	成果目標	・ハッピーライフウィークでの基本的な生活習慣の重点3項目を守って生活できる。	教育活動の重点3項目の取組で A：3項目を達成する B：2項目を達成する C：Bに満たない	A								
	教育活動	・ハッピーライフウィークで ①23時までの自分の決めた時間に就寝する。	生徒取組カードで A：85%以上の生徒が実施 B：65%以上の生徒が実施 C：Bに満たない。	A	6月(前期) 10月(後期) ①全校85.2% ①全校90.0% 1年80.7% 1年88.7% 2年87.2% 2年88.3% 3年86.2% 3年92.6%							
	教育活動	・ハッピーライフウィークで ②メディアの使用を2時間以内にする。	生徒取組カードで A：85%以上の生徒が実施 B：65%以上の生徒が実施 C：Bに満たない。	A	②全校93.1% ②全校95.3% 1年93.6% 1年90.7% 2年91.8% 2年96.4% 3年94.1% 3年97.4%							
	教育活動	・ハッピーライフウィークで ③バランスの取れた朝食を食べる。	生徒取組カードで A：85%以上の生徒が実施 B：65%以上の生徒が実施 C：Bに満たない。	A	③全校91.6% ③全校96.8% 1年77.1% 1年96.5% 2年97.4% 2年97.5% 3年91.6% 3年96.3%							
	運営活動	・ハッピーライフウィーク中、カードを使って個々の睡眠の評価と生活指導を行う。	ハッピーライフウィーク中に担任か学年主任、養護教諭のいずれかが A：毎回、必要な生徒に向けて必要な生活指導を行う。 B：年間1回以上、必要な生徒に向けて必要な生活指導を行う。 C：Bに満たない。	A	6月は各教室でパワーポイントを用いて睡眠の重要性について学習した。 10月は全校一斉に体育館でパワーポイントを用いて睡眠と栄養について学習した。							

3. 学校支援地域本部事業

令和4年3月 学校支援地域本部事業報告

出雲崎小学校 出雲崎中学校

活動のあゆみ

運営委員長 内藤 仁

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Withコロナの生活様式を余儀なくされました。新しい生活様式の中で、小中両校では、感染予防対策を講じながら工夫した教育活動を展開してきました。

出雲崎の豊かな自然、文化、人とかかわる活動を通して、子どもたちは様々なことを学びます。実感の伴う活動は、学びを広げたり深めたりするだけでなく、心を豊かにしてくれます。今後も地域と学校の連携のあり方を考え、さらに強めていきたいと考えています。

本リーフレットを通して、小中学校の活動の一端を皆様にご報告させていただきます。今後も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

1年

みんながよし みんな大すき!

～すてきなたからものいっぱい♡～

入学してから、初めての体験の連続でしたが、ドキドキワクワクしながら、たくさんのごことにチャレンジしました。ほなみが丘探検や昔の遊び交流会では、地域の方に教えていただきながら、たくさんのごことを学びました。モルモットの飼育やあさがお・さつまいもの栽培など、自然・生き物・人々との出会い・関わりはすてきな宝物になりました。



ほなみが丘探検



昔の遊び交流会



さつまいも掘り



さつまいもパーティー

2年

町のすてき大発見 ～わたしの町大好き～

2年生は「梅もぎ体験」「梅ジュース作り」を通じて、地域の方や土地に関わりました。働いたりする人々の様子を調べました。出雲崎町の人や自然にたくさん触れることで、一人一人が出雲崎町のすてきや魅力を実感することができました。



梅もぎ体験



梅の選別場見学



町探検



3年

出雲崎のいいところ

～ぼくの・わたしの自まんの町～

「出雲崎といえば」の学習からスタートした3年生30人! まずは、出雲崎を語るうえで欠かせない「良寛さん」の一生やエピソードなどを学習しました。そして、実際に良寛堂でお話を聞いたり、光照寺で座禅をしたりしました。また、日本で唯一紙風船を作っている「磯野紙風船製造所」を見学し、オリジナル紙風船作りに挑戦。「出雲崎名物の浜焼き」もみんなで味わいました。出雲崎のよさを一人一人が実感することができました。

良寛記念館の見学



浜焼きについて教えてもらいました



磯野紙風船製造所の見学



光照寺で座禅体験



良寛堂を訪ねて

4年

ホリーブ自然環境調査隊

～わたしたちにできることを考えよう～

4年生は、自分たちの身近な環境について考えました。生き物調査やごみ調査、島崎川の水質調査、講師の方々のお話から、生き物がいないとわたしたち人間が生きていけないこと、わたしたちが生活の中で出しているごみや使っているエネルギーが、様々な環境問題を引き起こしているなどを学びました。自分たちでもできることは何かを考え、子どもたちでもできることを実践しました。水や電気の節約、マイバッグの利用、環境マークの商品を使うなど、自分たちができる第一歩を考えることができました。



島崎川で水採取



プールの生き物調査



島崎川の水質調査



環境マーク学習会

5年

米づくりから、見つめよう出雲崎の「食」

～出雲崎定食を作ろう～

「学校田で米を作れるんだって!」子どもたちの米づくり体験は、初めての連続でしたが、みんなわくわくしながら「田植え」や「稲刈り」「ペットボトル稲」に挑戦してきました。稲の生長から収穫までの過程を体験することを通して、これまで以上にお米を大切に思う気持ちが深まりました。また、出雲崎の特産品についても知り、えご、梅、麩、牛乳を取り入れた『出雲崎定食』を学年のみんなで考えて作りました。この経験を通して、地域食材の大切さやこの地域の伝統にも思いを巡らせることができました。

学校田の米と出雲崎の特産品を集めた出雲崎定食の完成です!



梅干しを作ろう



えごを作ってみよう



みんなで稲刈り

6年

未来へ～出雲崎とわたし～

故きを学び、未来を思い描く

人やものなどとの出会いはもちろん、これまでの総合タイムの学習・経験を通して、出雲崎町の未来や自分の夢（生き方）について考えてきました。特に2学期には、今までの学習・経験をもとにして、出雲崎町の未来に夢を馳せ、これからの出雲崎町のためにどうしていくべきかを“6年生”という立場から議会で提案発表しました。『出雲崎町の未来』……大人になっても出雲崎町にいる人、町外へ出る人、その人の立場と距離感で出雲崎町にかかわっていく礎にこの取組がなることを願うばかりです。



3年 町探検での学び



4年 海岸清掃での学び



町議会で提案発表



提案書の原案づくり

出雲崎中学校の取組

ふるさとの方々から学ぶ

地域に関するたくさんの方々からおいいただき、様々な分野について学ぶことができました。



4月 自転車教室



1月 卒業生激励



10月 資源物回収



5月 11月 防災教室



7月 12月 書写指導



10月 歯磨き教室



6月 人権講演会



8月 親子グラウンド除草



11月 がん教育指導



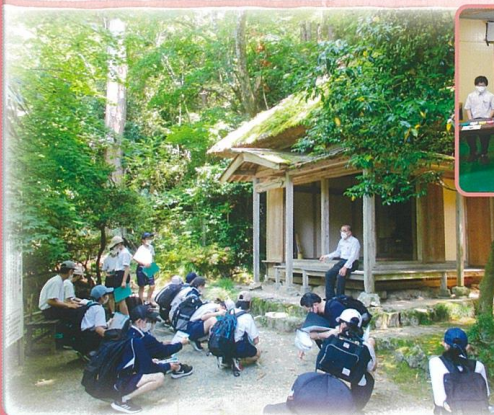
12月 性の指導



10月 薬物乱用防止教室

ふるさとへの愛着と誇りを育てる

出雲崎町の各事業所や良寛ゆかりの地を訪れ、自然、産業、文化など町の歴史や現在を学びました。



IV 社会教育事業の実施状況

1. 社会教育・公民館事業

①青少年教育事業

事業名	事業の対象	実施内容
出雲崎ッズ 「スタディスクール」	小学生	<p>実施回数 8/17(火), 18(水) 計2回 会場 中央公民館大広間 講師 大矢 永遠 氏 (現 長岡技術科学大学生) 申込数 5名 目的及び内容 1人で考え、問題を解くことも重要であるが、問題を共有し、一緒に解く場(アクティブラーニング)を設けることで理解をする楽しさを知ってもらう。 5教科を対象とした自主学習。 疑問点を講師、学友に聞き、理解を深める。</p>
学びアシスト 「きらり塾」	中学生	<p>実施回数 【中学校3年生】 19時～21時・毎週水曜日 <u>27回実施</u> (全38回計画) ○前期 6月～10月 9人 17回(24回中) ○後期 11月～2月 10人 10回(14回中) 【中学校1・2年生】 19時～21時・月2回金曜日 <u>5回実施</u> (全10回計画) ○前期 未実施 ○後期 11月～2月 2人 ※ 実施回数の減は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策によるもの(特別警報・まん延防止重点措置期間中の中止) 会場 中央公民館視聴覚室 講師 遠山 昇 氏 (三島中学校校長退職、現在、長岡市社会教育委員) 目的及び内容 ・学習習慣を身につけたい。苦手科目を克服したい。 ・受験に向け不安がある。 ・何を勉強すればよいかわからない等の悩みを解消。 ・5教科を対象とした自主学習で疑問点等を講師に質問し、悩みを解消。</p>

事業名	事業の対象	実施内容
<p>放課後子どもプラン</p> <p>・放課後児童クラブ (放課後児童健全育成事業)</p> <p>・放課後子ども教室</p>	<p>小学校 1～6年</p>	<p>実施回数 通年（月～金放課後、第1・3・5土曜日、振替休業日、長期休暇期間）</p> <p>会場 出雲崎小学校体育館内 児童クラブ室</p> <p>登録数 1年生：13名 2年生：17名 3年生：11名 4年生：3名 5年生：2名 6年生：0名 (3月末現在)</p> <p>目的及び内容 昼間保護者が不在となる家庭の児童の保護保育を図るため、遊びや生活の場を提供する。</p> <p>実施回数 1学期から 月～金放課後 (学校行事等と重なる日は実施しない) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の為、1月以降の活動を中止とした。</p> <p>会場 出雲崎小学校生活科室、中央公民館、町民体育館</p> <p>申込数 1年生：9名 2年生：9名 3年生：7名 4年生：8名 5年生：10名 6年生：8名</p> <p>目的及び内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力を活かし、体験や交流、学習など多様な活動の機会の提供。 ・放課後等の安心安全な居場所づくり。 <p>(主な内容) 理科工作実験教室、野球教室、英語学習 おけさ教室、運動あそび</p>

「理科工作実験教室」



「英語教室」



「運動あそび塾」



「伝統文化おけさ教室」



「野球教室」



「えいごあそびうた」



②成人期・高齢期の学習活動

事業名	実施内容
出雲崎総合大学	<p>実施回数 全9回開催（歴史・文化・環境など幅広く実施）</p> <p>受講者数 32人（延参加者203人）</p> <p>実施内容 住民の学習意欲を促進し、健康で文化的な活力ある、生きがいのある生涯学習社会の実現を図ることを目的とした学習講座。</p> <p>〈主な講座〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良寛記念館所蔵作品説明 ・北前船と出雲崎の文化財～北前船が育む文化の魅力～ ・県立歴史博物館出前講座 「はにわとどぐう・オビ・クワとバンパク」 ・「さよならのない別れ」 ・出雲崎町発行新聞～中越月報～ など <p>(講座風景)</p>  <p>(閉校式記念写真)</p> 

事業名	実施内容
公民館講座 料理教室	対 象 一般町民 実 施 日 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
フラワー アレンジメント教室	実 施 日 R3 10/26(火) 壁掛けスワッグ作り 参加者 8 名 R4 3/ 5(土) フラワーフレグランス 参加者 6 名 R4 3/19(土) 春色アレンジメント 参加者 6 名 講 師 明田川 綾子 氏
古文書に親しむ講座	実 施 日 9/10(木) 「越後孝婦伝」をよむ① 9/24(木) 「越後孝婦伝」をよむ② 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】 10/ 8(木) 「北越奇談」をよむ 10/22(木) 「東講商人鑑」をよむ 受講者数 14 名 講 師 小熊 よしみ 氏
キッズダンススクール	実 施 日 7/7、14、21、28 10/6、27 11/10 12/1 受講者数 幼児コース 9 名、小学生コース 6 名 講 師 磯野 詩愛 氏

③芸術・文化活動

事業名	実施内容
文化芸術鑑賞会	対 象 出雲崎小、中学生及び一般町民 実 施 日 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
東京藝大生招致事業	参加者数 東京藝術大学 大学院生 実 施 日 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としたが、次年度来町予定の学生に事業の周知と町のPRを行った。

事業名	実施内容
第17回良寛さん 心の書道展	目的 子どもたちに良寛さんの慈愛の心を継承する 対象 出雲崎小、中学生 応募数 229点 展示期間 9月11日(土)～20日(月・祝) 会場：中央公民館講堂
生涯学習 フェスティバル	作品展示 10月30日(土)～11月3日(水・祝) 来場者 379人 ステージ発表中止のため、アーカイブ映像放映 廃棄図書の無料配布(図書館) ワークショップ (フラワーケーキづくり・紙ふうせんデザイン体験)  
文化サークル 活動助成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4サークルに助成 太極拳、書道、ガーデニング、英会話
関係団体活動助成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2団体に助成 出雲崎妻入りの街並景観推進協議会 街並活性研究会

④学校・家庭・地域の連携事業

事業名	実施内容
学校・家庭・地域の連携事業 (学校支援地域本部)	学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的としている。 地域コーディネーターが中心となって、地域の様々なボランティア指導者や団体と協力して小中学生を対象に活動を実施。

⑤その他事業

事業名	実施内容
公民館だより発行	毎月1回(4ページ)、公民館の活動内容などを紹介した「公民館だより」発行し、町の全世帯に配布。町ホームページにも掲載。仕分け作業等をふれあいサポートセンターに委託している。
生涯学習 カレンダー作成	公民館、町、学校などの事業予定を掲載したカレンダーを作成し、町の各世帯や事業所に3月5日に配布。(作成部数1,850部)
生涯学習 人材バンクの策定	目的 “誰でも何かの先生になれる”を合言葉に、地域住民から先生を見つけて、公民館講座や放課後子ども教室等の事業に講師として参画し、各人の持つ技能や技術等を広く伝えていくことによって、生涯学習の推進を図る。 対象 一般町民
良寛記念館	○ 年3回の特別企画展 ・春の特別企画展「良寛ゆかりの土田家寄贈作品展」 ～土田家の歴史から見る良寛の足跡～ ギャラリートーク 4月11日(日)開催 ・夏の特別企画展「良寛の逸話展」 ～逸話から見る良寛の意(こころ)～ ギャラリートーク 7月17日(土)開催 ・秋の特別企画展「良寛記念館寄贈・寄託作品展」 ～良寛記念館に寄せられるご厚意に感謝して～ ギャラリートーク 10月31日(日) ○ 音楽会 津軽三味線リサイタル12月11日(土) ○ 冬期『常設展』併設特別展「近代の書家展」 ○ 良寛記念館つるし雛飾り ○ 新春音楽会 荒木奈緒子と風のうたアンサンブル3月26日(土)開催

事業名	実施内容
北前船日本遺産 推進事業	<p>○新潟県の魅力ある文化財の保存・活用創造事業 「北前船と出雲崎の文化財 ～北前船が育む文化の魅力」 10月2日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出雲崎まちあるき ・発表「出雲崎町の文化財とその魅力」 ・民俗演舞「お船歌」「出雲崎おけさ」 ・講演「北前船寄港地出雲崎の町並み」 平山育男氏(長岡造形大学) ・パネルディスカッション <p>○町家展示施設「出雲崎寄港地の町家」運用開始 有償ボランティア団体「みなとまち町家の会」により施設の管理を行ってもらい、北前船をはじめとする廻船の文化と歴史を伝える展示物の説明や周辺の観光資源と併せた妻入りの街並み等の案内を行った。 令和3年5月1日（土）開館</p>

⑥施設利用状況（公民館・良寛記念館）

公民館利用者数

令和2年度（R2.4.1～R3.3.31）		令和3年度（R3.4.1～R4.3.31）	
海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
1,968 人	7,521 人	2,005 人	6,884 人

良寛記念館入館者数

令和2年度（R2.4.1～R3.3.31）	令和3年度（R3.4.1～R4.3.31）
4,532 人	4,155 人

2 図書館事業

①図書館利用状況について（3月末日現在）

表1：分類別利用状況

	令和2年度 (R2.4.1~R3.3.31)		令和3年度 (R3.4.1~R4.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総記	22冊	10冊	24冊	6冊
哲学	40冊	37冊	46冊	8冊
歴史	133冊	25冊	91冊	17冊
社会科学	102冊	26冊	131冊	10冊
自然科学	120冊	38冊	92冊	24冊
技術	98冊	16冊	101冊	15冊
産業	30冊	18冊	51冊	6冊
芸術	72冊	19冊	117冊	15冊
言語	13冊	5冊	2冊	4冊
文学	2,201冊	785冊	2,409冊	611冊
絵本・紙芝居	264冊	312冊	426冊	251冊
雑誌	86冊	53冊	137冊	21冊
計	3,181冊	1,344冊	3,627冊	988冊

※ 年度別貸出冊数

令和元年度	令和2年度	令和3年度
4,227冊	4,525冊	4,615冊

表2：図書貸出年齢別貸出人数

	令和2年度 (R2.4.1~R3.3.31)		令和3年度 (R3.4.1~R4.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
一般（23歳以上）	1,064人	364人	1,197人	294人
学生・生徒 (13歳~22歳)	28人	7人	28人	10人
児童（12歳以下）	55人	13人	57人	3人
合計	1,147人	384人	1,282人	307人

※年度別貸出人数

令和元年度	令和2年度	令和3年度
1,430人	1,531人	1,589人

表3：貸し出し以外の図書館利用人数

	令和2年度 (R2.4.1~R3.3.31)		令和3年度 (R3.4.1~R4.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
一般(23歳以上)	250人	38人	158人	50人
学生・生徒 (13歳~22歳)	27人	13人	19人	62人
児童(12歳以下)	95人	6人	83人	0人
合計	372人	57人	260人	112人

※年度別図書館来館者総数

令和元年度	令和2年度	令和3年度
2,059人	1,960人	1,961人

表4：図書購入状況

	令和2年度 (R2.4.1~R3.3.31)		令和3年度 (R3.4.1~R4.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総記	9冊	2冊	6冊	0冊
哲学	5冊	1冊	4冊	2冊
歴史	14冊	1冊	15冊	2冊
社会科学	22冊	3冊	26冊	4冊
自然科学	25冊	3冊	22冊	1冊
技術	19冊	5冊	10冊	5冊
産業	2冊	3冊	12冊	2冊
芸術	11冊	3冊	19冊	2冊
言語	0冊	0冊	2冊	0冊

	令和2年度 (R2.4.1~R3.3.31)		令和3年度 (R3.4.1~R4.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
文学	240冊	117冊	235冊	107冊
絵本・紙芝居	74冊	76冊	84冊	66冊
計	421冊	214冊	435冊	191冊
(雑誌種類)	7種類	2種類	7種類	2種類

※年度別購入冊数

令和元年度	令和2年度	令和3年度
599冊	635冊	626冊

②その他事業

事業名	実施内容
ブックスタート事業	1歳6ヶ月になる児童に絵本3冊を贈呈している。
親子文庫	小学校を通じて、小学2~5年生の家庭に対し、本のセット(児童とその保護者)を貸し出す。
除籍図書の無償配布	11月3日の生涯学習フェスティバルにおいて除籍した図書を無償で配布。
県立図書館図書の貸出	県立図書館からセット図書として100冊単位で借り受け、町民に貸出す。(R3年度、新たに開始 R4.2月末現在で県立図書200冊所蔵)

3 社会体育事業

①町内大会

大会名	実施日	備考 今年度（昨年度）
第43回 町民バレーボール大会	2月27日(日)	中止 (中止)
第15回 町民ウォーキング	10月17日(日)	雨天中止 (31名)
第40回 町内ゲートボール大会	10月22日(金)	6チーム 42人 (7チーム 47人)
第32回 町民ソフトバレーボール大会	11月21日(日)	12チーム 61人 (中止)
第6回 町民卓球大会	3月27日(日)	中止 (中止)
第35回 屋内ゲートボール大会	2月8日(火)	6チーム 36人 (6チーム 37人)
第41回 町民バドミントン大会	3月13日(日)	中止 (中止)
町民登山	6月20日(日)	小木ノ城：7名 (中止)
	10月～11月	中止 (中止)



屋内ゲートボール大会



町民ソフトバレーボール大会

②体力づくり事業(実施場所:町民体育館2階トレーニング室)

事業名	実施日	備考 今年度(昨年度)
トレーニング教室	5月～3月 全20回	申込:5名 (中止)

③スポーツ教室等

大会名	実施日	備考 今年度(昨年度)
わんぱく水泳教室	8月2日～8月6日 全5回	申込:28人 延べ:127人 (申込:19人 延べ:81人)
柔道教室	通年(火・金)	8人(8人)
テニス教室	5月～11月 全20回	申込:12人 延べ:198人 (申込:13人 延べ:110人)
柔道昇級審査会	11月28日(日)	8人(8人)
さわやかスポーツ教室	通年(火) 全16回	申込:21人 (申込:21人 延べ:159人)
いきいき体操教室	8月～12月 全10回	申込:10人 延べ:57人 (申込:7人 延べ:54人)
ストレッチボール教室	5月～12月 全20回	申込:13人 延べ:124人 (申込:9人 延べ:81人)
太極拳教室	5月～8月 全10回	申込:3人 延べ:18人 (申込:11人 延べ:61人)
小学生スポーツチャレンジ教室	バレエ:10～12月 全8回	バレエ 申込:16人 延べ:117人 (申込:17人 延べ:158人)
スキー&スノーボード教室	2月20日(日)	中止(中止)



バレーボール教室



いきいき体操教室

④体育協会主催事業

事業名	実施日	備考 今年度（昨年度）
姉妹都市 中学生交流スポーツ大会	7月	会場：出雲崎町 新型コロナウイルス感染症防止のため中止 (中止)
姉妹都市 親善スポーツ大会	10月	会場：出雲崎町 新型コロナウイルス感染症防止のため中止 (中止)
第20回出雲崎町近郷ゲートボール大会	3月3日(木)	中止(中止)

⑤スポーツ推進委員関係

事業名	実施日	備考
中越地区社会体育研究協議会	書面協議	長岡市
北陸地区スポーツ推進委員研修会	中止	富山県
新潟県スポーツ推進委員大会	10月16日(土)	妙高市
全国スポーツ推進委員研究協議会	中止	佐賀県
二市三刈羽ブロック研修会	中止	柏崎市
中越地区社会体育総合研修会 兼三市二魚沼ブロック研修会	11月23日(火・祝)	南魚沼市



中越地区社会体育総合研修会兼三市二魚沼ブロック研修会

⑥長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業

- ・スポーツ指導者派遣事業
「ウォーキングフットボール教室、モルック教室」 2月～3月 →中止

⑦東京 2020 オリンピック・パラリンピック関係

事業名	実施予定日等
東京 2020 パラリンピック 聖火フェスティバル (採火式)	8月16日(月) ふれ愛サポートセンター いずもぎき

⑧体育施設利用状況

	令和2年度 (R2. 4. 1～R3. 3. 31)	令和3年度 (R3. 4. 1～R4. 3. 31)
町民体育館	18,869人	18,851人
(トレーニング室)	(6,917人)	(7,558人)
町民野球場	3,081人	2,620人
多目的運動場	844人	1,092人
プール	1,759人	2,601人
柔道場	516人	539人
屋内GB場	3,619人	3,556人

▶概要

令和3年度も昨年度と同様に青少年や一般成人等を対象とした各事業について、新型コロナウイルス感染防止のため中止または縮小した事業等が多かった。次年度以降は、学習意欲の高まりや多様化に対応できるよう感染症対策を取りながら内容の一層の充実を図っていく。

▶成果と課題

1. 文化教室の受講者は高齢者が主であり、定期的に出かける場となることで孤立を防ぎ、仲間づくりにつながるのので有効なものと考えている。一方、参加者の高齢化や固定化により新規参加者が少ないことや若者参加の掘り起こしを行い、今後もニーズを捉えた教室開催が望まれる。
2. 第3次生涯学習推進計画により、町民の誰もがいつでも、どこでも、生涯を通して自分らしく自主的に学習することができ、楽しみや生きがいの発見などにつながるよう生涯学習を推進していく。
3. 放課後児童クラブの運営では常に定員を超える申込みがあり、現在のクラブ室では手狭なため校舎の空き教室を活用したり、支援員の増員を行い平日、長期休暇に利用者のニーズにあった運営を行っている。

4. インターネットやスマートフォンの普及により読書離れが進んでおり、子どもたちの健やかな成長には読書を推進していくことが重要で、子ども読書活動推進計画により学校・家庭における読書推進を図らなければならない。
5. ネット社会の進展により、子供たちのネットいじめ、ネット依存などメディアコントロール力を高めることが課題である。家庭内でのメディアやゲーム機の決め事を話し合っって子供たちの心や行動に影響しない取組を継続していかなければならない。
6. 町のシンボルであり重要な観光拠点でもある良寛記念館の発展に寄与することを目的とした組織「良寛記念館応援倶楽部てまりの会」の設立初年度は、入会者も予定を上回り盛会であった。次年度も引き続き充実した活動を図っていく。
7. 伝統芸能の育成は団体に働きかけ行いながら、一方で青少年育成講座などの教室で興味を持ってもらう動機付けが必要であるので、指導できる体制づくりをめざす。
8. 町民のニーズにあったスポーツ活動の機会を町民と協働で実施していくことや現在行っている大会やイベントを一層充実していくことが重要で、そのために町民に知ってもらえるような情報発信の工夫が必要となっている。
9. 家庭教育は自制心、自立心等を育成する大切な役割を果たすため、子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会の提供や親が家庭教育に関して気軽に相談でき、家庭・学校・地域が連携し、地域全体で子育て家庭を支援していく体制づくりが必要である。

V 学校・社会教育施設の整備充実

▶整備の状況	<ol style="list-style-type: none">1 学校教育施設の主な整備状況<ul style="list-style-type: none">○ 小学校職員玄関外壁改修工事○ 小学校特別教室棟空調改修工事○ 中学校図書室照明 LED 改修工事2 社会教育施設の主な整備状況<ul style="list-style-type: none">○ 中央公民館 1 階照明 LED 改修工事○ 耐雪庵屋根修繕工事3 社会体育施設の主な整備状況<ul style="list-style-type: none">○ 町民プールプレイシステム塗装工事○ ゲートボール場照明 LED 改修工事○ 町民プール屋外シャワー塗装工事
--------	--

▶概要

本町は学校教育施設や社会教育、社会体育施設等の整備は、計画的に進めてきており、それぞれの施設の大規模改修や機器の購入などの整備は概ね完了している。本年度は安全上緊急を要する改修や機器の購入などを行った。

▶成果と課題

本年度は、昨年度実施した小中学校の施設の長寿命化計画に基づく計画的な老朽化対策として小学校の外壁改修を行うことにより、施設の延命化が図られた。

GIGA スクール構想の前倒しにより、1 人 1 台端末を整備することになり、学校でのインターネット環境の整備を行い、R3 年度からタブレットによる学習がスタートできる環境が整った。

昨年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施した各施設の蛇口の自動水栓化や網戸の設置は接触や換気に有効で感染拡大防止と節水に効果が出ている。

社会教育・体育施設では、LED 化により環境対策、維持管理費の軽減が図られ、今後も町民の健康増進とスポーツ振興に役立つ施設として利用率向上を図っていく。

今後とも、厳しい財政状況の中、老朽化する施設の維持管理については、年次計画を立てた中で、更新・改修・整備等を図り、長寿命化などに対応していかなければならない。

VI 学識経験者からの総合評価

元長岡市立東中学校長 佐藤忠弘

新型コロナウイルスの度重なる変異株の置換により、その変化への適切な対応が求められる状況にある。感染者も高齢者中心から若年層にまで拡散し、幼保、小、中学校における感染対策が一層求められる中、出雲崎町教育が万全な危機対策を講じながら推進されていることに、深く敬意を表したい。

教育委員会活動では、「総合教育会議」で、町長、教育長、教育委員、教育行政各担当者が出雲崎教育の現状と課題を共有し、町総体としての教育推進の方向性を「ぶれないベクトル」に揃えている点は高く評価できる。特に、GIGA スクール構想実現のための Wi-Fi ルータ貸出等の情報通信環境の整備、新学習指導要領の円滑な全面実施や特別支援教育充実のための英語指導員、理科支援員、教育補助員、介助員の配置等、きめ細かな教育推進の具体的手立てを講じていることに敬服する。今後は、コロナ禍の影響などが及ぼす家庭生活の変化等により、個別に教育支援を要する児童生徒が出現する可能性があることを踏まえ、その場合適切且つ円滑に支援できるよう、学校、行政、臨床心理士、専門機関等が構成員となる「ケース会議」の速やかな設置と運用ができる組織づくりを検討願いたい。

学校教育においては、小、中学校ともに「学校評価」を定期的を実施し、常に児童生徒の実態把握と指導の改善を目指している。特に学習指導においては全国学力学習状況調査の結果を踏まえ、基礎的基本的な内容の確実な習得、家庭学習の充実を重点に創意工夫をされている。今後とも、「分かる授業」「魅力ある授業」の推進に向けた職員研修に力を入れていただきたい。なお、小学校では児童と保護者で、中学校では生徒と教師で評価認識にズレが見られる。例えば「主体的学び」への評価は小学校では児童より保護者が低く、中学校では教師より生徒が低い。そのズレがなぜ生じているのかも検討し、今後の指導に生かしてもらいたい。また、GIGA スクールと対面授業のそれぞれのよさと欠点を踏まえ、いずれかに偏ることなく効果的な学習指導の展開に努めていただきたい。加えてメディアの多様化に伴う情報モラル教育の充実にも一層力を入れてもらいたい。

社会教育においては、社会教育・公民館事業、図書館事業、社会体育事業、いずれの事業も感染対策の努力と工夫を重ねられ、可能な限り実施していこうという熱い姿勢が感じられた。昨年度と比べ、利用、参加される人数も増え、学びとかかわりを求める町民のニーズの高さが感じられる。図書貸出数は減少しているが学生・生徒の利用人数や来館者数の増加は、今後への期待を膨らませる。

現在、私たちはウィズコロナ・ポストコロナ時代の渦中であって、ロシアのウクライナ侵攻という理不尽な戦争のもたらす悲惨な現実を目の当たりにしている。不安感、不透明感が地球的規模で拡大する中、私たちは「生命の尊厳」「平和の尊さ」をグローバルな視点で子どもたちに学ばせる義務がある。これからの社会、時代を地球的視野で生き抜く子どもたちの未来のため、出雲崎教育がますます輝きをもって発展することを願ってやまない。

VII その他

○指導いただいた学識経験者名 (敬称略)

職 名	氏 名	備 考
元長岡市立東中学校長	佐藤 忠弘	長岡市在住 (旧三島町)

○町教育委員会関係者名簿

—教育委員—

(令和4年3月31日現在)

職 名	氏 名	備 考
教育長	曾根 乗知	
委員	佐藤 正志	教育長職務代理者
委員	大磯 多華子	
委員	宮田 よしみ	
委員	松岡 聡	

—職員名簿—

職 名	氏 名	備 考
教育課長	内藤 良治	
管理指導主事	近藤 道範	
教育課課長補佐	吉岡 育子	
教育課係長	高橋 聡	
教育課主任	小林 ひろ子	
教育課主任	山崎 健太	
教育課主事	石津 大弘	
教育課主事	名子屋 龍司	
教育課主事	大矢 遼	
事務職員	竹村 しのぶ	
事務職員	小川 真紀子	
用 務 員	小林 秋子	
清 掃 員	柴田 圭一	
良寛記念館 館長	永寶 卓	学芸員
同 事務職員	小黒 晴美	
同 事務職員	大久保 淳子	
同 事務職員	佐藤 佐由里	